

学習行動調査の目的は、①学生自身による学修行動・成果の振り返り、②寄せられた評価や意見をもとに、授業担当者が次年度以降の授業内容や方法の改善に取り組むこと、③授業環境について組織的な改善に結びつけることです。

今年度の回答率は 16%であり、昨年度の 23%より低下してしまいました。次年度は、回答率を上げる努力が求められる結果となりました。本調査で得られた結果は、関連する委員会をはじめ所管部局にフィードバックし、学生の多様なニーズに応えられるよう学修環境や大学環境の改善を検討していきたいと思えます。

最後に、本調査にご協力いただきました学生みなさんに厚くお礼申し上げます。